

## 平成30年度 入学式式辞 (H30.4.9)

今年は早い春の訪れとなりました。記録的な大雪に耐えた、創立30周年記念の桜も今日のおよき日を待ちきれずに、先日可憐な花を咲かせていました。

本日、野々市市長 栗 貴章 様 代理、野々市市総務部長 山口 良 様、野々市市議会議員長 早川 彰一 様 ほか多数のご来賓の皆様のご臨席を賜りますとともに、保護者の皆様にご列席いただき、平成30年度石川県立野々市明倫高等学校入学式を、このように盛大に挙行できますことは、私たち教職員にとりまして、大きな喜びです。ご臨席をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

ただ今、入学を許可された280名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの晴れの入学を心から歓迎いたします。また、保護者の皆様方には、お子さまのご入学、心からお祝いを申し上げます。

本校は、昭和58年にこの地に創立され、今年で36年目を迎えます。広くて明るい校舎、県下に誇る広いグラウンドなど教育環境にも恵まれており、地元野々市市唯一の県立高校として地域の期待も大変大きいものがあります。

本校の教育目標は、建学の時より「知性を磨き、徳性を涵養し、心身ともにたくましい人間の育成に努める」であり、「聡く、正しく、逞しく」を校訓にしています。私たち教職員は、この教育目標の下、皆さん一人ひとりの個性と適性を尊重し、きめ細かな指導を行って皆さんの高校生活を支援してまいります。

ここで、皆さんが、本校における高校生活を充実したものにするために、私が希望することを2つ述べたいと思います。

まず、第一に、何事にも「進んで挑戦する」ことです。

皆さんは、高校入学を前にして、高校生になったら「私は勉強を頑張ろう」とか「部活動を頑張ろう」というふうにいるいろいろな考えながら、今日の日を迎えたと思います。まずはその思いを大切にしてください。

今年、大リーグに二刀流で挑戦した大谷翔平選手は、先ほど圧巻のピッチングで2勝目をあげました。バッターとしても3試合連続でホームランを放っています。挑戦したからこそ、今の彼があるのだと思います。ぜひ、新しいことに挑んでみてください。

新しい自分に挑戦するとき、人はわくわくします。一方で、限界に挑めば壁にもぶつかります。うれしい思いも悔しい思いもすることでしょう。それでもそれらはいつの間にか

皆さん自身を成長させていきます。新しいところに飛び込むからこそ世界が広がり、限界を知るからこそ工夫が生まれます。挑戦し続けてこそ人生は豊かなものになるのではないかと考えます。

もう一つは、「人間性を磨く」ということです。

「人間性」というものをひと言で言うのは難しいのですが、「人としてあるべき姿、これを規準に考え、それに従い行動すること」だと考えています。例えば、人を愛する心や互いの人格を尊重する精神、決して諦めない粘り強さや失意の底からでも這い上がろうとするたくましさ、クラスの友達や部活動のチームメイトなどの仲間を大切にすることや家族をはじめ自分を支えてくれる人に感謝することだったりします。これらを育むには高校生活は最適の場であり、一緒に人間性を磨き合う友は生涯の財産となります。

少し話を変えます。

平昌オリンピックのカーリングで日本の女子チームが多くの人々の共感を集めました。銅メダルを獲得したこともさることながら、どんなときも笑顔が絶えないチームに私も引き込まれました。

スキップの藤澤五月選手の話をしてしましよう。

昨年2月、優勝すればオリンピック代表が決まる日本選手権の決勝で藤澤選手のチームは負けてしまいます。何が足りないのか、どうすればオリンピックに行けるのか、藤澤選手は自問自答し、翌月、1人でカナダ選手権を見に出かけます。

観戦していたとき、観客席で心に残る言葉を聞きます。現地のファンが敗れた選手に対してこう言いました。「あの選手はトップカーラーではなかったけれど、グッドカーラーだね」。カーラーというのはカーリングプレイヤーのことです。その言葉を聞いて藤澤選手は「勝てなくても憧れられる、尊敬されるカーラーこそ、私の目指すべき姿なのかもしれない」と考え方が大きく変わります。

帰国すると、カーリングがまた楽しくてたまらなくなったといえます。それから半年後の9月、オリンピック代表決定戦で勝利し、オリンピックへの出場が決まりました。

藤澤選手は、チームメイトとともに果敢にオリンピックに「挑戦」しました。そして競技を通して自分と向き合うことで、「人間性を磨き」続けました。競技者としての栄誉は銅メダリストですが、多くの人から寄せられた賞賛はそれ以上で、それは藤澤選手をはじめチームみんなの人となりに集まったものだと思います。

新入生の皆さん、この「進んで挑戦する」と「人間性を磨く」ことを心にとどめ、今日の喜びと決意をいつまでも忘れず、健康で心豊かな、そして自立した人間を目指して、充実した高校生活を過ごすよう希望します。

最後に、保護者の皆様、お子さまのこれからの三年間は、まさに自立への旅であります。時には温かく、時には厳しく見守っていただきたいと思います。われわれ教職員も、大切なお子さまの教育に、全校一丸となって努力邁進する決意です。本校の教育に対しご理解とご協力を賜りますよう切にお願い申し上げ、式辞といたします。

平成三十年四月九日

石川県立野々市明倫高等学校長

中村 義治